

吹田操車場跡地の新たな用地買収は 市長の公約違反 30億 → 57億8千万に

吹 田市議会の3月定例会が3月4日から28日までの会期で開催されました。日本共産党からは、玉井みき子議員が代表質問を、山根たかし議員、村口はじめ議員、柿原まき議員が個人質問をおこないました。

東部拠点整備事業について「吹田市の負担は基盤整備に30億円だけ」といっていたにもかかわらず、新たに基盤整備以外に、23億円を

費やして利用価値の低い、企業も手を出さない用地を買収する計画があきらかになりました。今後の際限のない大型開発に吹田市が踏み込もうとするものであり、「何年かかるかわからないが、夢は大きいほうがいい」と地下鉄延伸事業に固執するなど現市長の政治姿勢は問題です。日本共産党は市民要求の前進を評価しながら、これらの問題点を指摘し予算案に反対しました。



後期高齢者医療制度の導入に反対

日本共産党

市民の願いが前進



乳幼児医療費助成・妊婦健診助成を拡充、 病児保育・児童センター

市民の要望にこたえて就学前までだった乳幼児医療費助成を入院にかぎり小学校卒業まで、妊婦健診助成を1回から6回までに拡充します。病児・病後児保育をおこなうために岸部診療所を改修します。(仮称)千里山竹園児童センター(09年度開設)を建設します。



小・中学校35人学級を拡大、 学校校舎の耐震改修

現在府下で小学校2年生までが35人学級となっています。吹田市独自に小学校3年生と中学校3年生に拡大し、今年度各2校でモデル実施(岸部第2小・豊津第2小・第6中・豊津西中)します。学校体育館の耐震改修について、学校校舎の耐震化を順次すすめます。

広島平和大使、JOBカフェすいた

「非核平和都市宣言25周年記念事業」で中学生18人をはじめとする市民を広島市へ平和大使として派遣します。青年の就労支援としてメロード吹田1番館に「JOBカフェすいた」を開設します。今年度予定している「商工振興条例」は市内中小商工事業者の立場で制定を求めました。



消防救急体制の拡充、 駅前のバリアフリー化

「安心安全都市づくり宣言」が制定されました。年間1万6千件の救急出動をささえる救急隊を7隊体制に拡充。阪急関大前、吹田、北千里、JR岸辺の各駅周辺のバリアフリー化がとりくまれます。



市民の願い届けます 日本共産党吹田市議会議員団



倉沢 さとし 議員



そろり 邦雄 議員



山根 たかし 議員



村口 はじめ 議員



竹村 博之 議員



塩見 みゆき 議員



柿原 まき 議員



玉井 みき子 議員